





問1 血液について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 血液の pH は、 $7.0 \pm 0.05$  に保たれている。
2. 白血球の産生には、エリスロポエチンが関与している。
3. 血小板の寿命は約 100 日である。
4. 血漿タンパク質の全量の 60% はアルブミンである。

問2 消化器の構造と機能について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 大腸の粘膜面には輪状ヒダ、腸絨毛、微絨毛がある。
2. 口腔から食道に入った食物は、食道の蠕動運動によって胃に運ばれる。
3. 胃の壁細胞からペプシノゲンが分泌される。
4. ランゲルハンス島の B( $\beta$ )細胞からグルカゴンが分泌される。
5. 肝臓は血液中にブドウ糖が多い時には、グリコーゲンを合成し貯蔵する。

問3 咽頭について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 咽頭は気道に属する。
2. 咽頭は長さ約 20 cm の器官である。
3. 上方より咽頭の鼻部、口部、喉頭部に区別される。
4. 鼻腔・口腔と咽頭につながる部位には、ワルダイエルの咽頭輪がある。

問4 心臓について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 心臓の自動的な興奮リズムは、房室結節でつくられる。
2. 三尖弁は、左心房と左心室の間にある。
3. 左心室に流れ込んだ動脈血は、上行大動脈から全身に送られる。
4. 心臓には、迷走神経は分布しない。

問5 日本人の食事摂取基準について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 厚生労働省が策定し、毎年改定が行われる。
2. 成人の推定エネルギー必要量は、身体活動レベル別に示している。
3. 1歳以上男女共に、炭水化物は1日に必要なエネルギーの30~40%摂ることが望ましい。
4. 推定エネルギー必要量は、妊娠時でも変わらない。

問6 慢性腎臓病の食事療法について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. ステージ1~5の必要エネルギー量は、標準体重1kg当たり約25~35kcal/日である。
2. ステージ3では、蛋白質の摂取を制限しない。
3. ステージ1から、水分を制限する。
4. 高血圧や浮腫が起きやすくなるため、カリウムを制限する。

問7 医薬品について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 看護師は、麻薬施用者の免許を受けることができる。
2. モルヒネは、覚醒剤取締法に則り管理する。
3. 麻薬拮抗薬は、麻薬性鎮痛薬の呼吸抑制の改善に用いられる。
4. 向精神薬は、鍵のない所への保管が可能である。

問8 抗感染症薬とその適応について、組み合わせの正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. マクロライド系薬 —— 結核
2. セフェム系抗菌薬 —— ヘリコバクター・ピロリ菌
3. ザナミビル、オセルタミビル —— HIV 感染症
4. バンコマイシン —— メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

問9 消毒薬について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. グルタラールは真菌の消毒に有効である。
2. クレゾール石けんは、ウイルスに有効である。
3. ポビドンヨードは、芽胞に有効である。
4. ベンザルコニウムは、結核菌に有効である。

問10 細胞組織の障害について、組み合わせの正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 細胞の傷害によって組織細胞が死ぬこと —— 変性
2. 組織や臓器が本来の構造を保ったまま大きくなること —— 過形成
3. あらかじめ遺伝子によって組み込まれている細胞死 —— アポトーシス
4. 細胞の数が増えることで組織や臓器が大きくなること —— 萎縮

問11 滲出液の特徴について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 腫瘍や炎症によって生じる。
2. 血管壁の透過性が低下したことから生じる。
3. 含まれるタンパク質の量は少ない。
4. 性状は透明である。

問12 動脈硬化症のメカニズムについて、( ) 内に適切な語句を、下の枠内から選び、記入しなさい。

動脈壁に ( ① ) が沈着すると、炎症細胞が浸潤して様々な組織障害を引き起こし ( ② ) が形成される。その周りには線維化や石灰化が生じ、血管壁の ( ③ ) が生じる。これにより、虚血となるほか、②の破たんによって ( ④ ) が形成されることから組織の梗塞を招く。

タンパク質	脂質	血栓	炎症	肥厚	拡張	粥腫 (アテローム)	小血管
-------	----	----	----	----	----	------------	-----

問 13 感染症法について、正しい組み合わせを1つ選び、番号を記入しなさい。

- a. 感染症は、一類感染症から四類感染症に類型されている。
- b. 指定感染症は、政令で3年間に限定して定められる。
- c. 結核・ジフテリアは二類感染症である。
- d. 感染症の病原体は、一種～四種に分類されている。

1. aとb      2. aとc      3. bとd      4. cとd      5. aとd

問 14 ダウン症候群について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

- 1. 特徴的な顔貌で、鞍鼻である。
- 2. 母親の加齢とともに出生頻度は減少する。
- 3. 21番染色体の欠損による染色体異常である。
- 4. 先天性心疾患の合併頻度は低い。

問 15 介護保険について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

- 1. 都道府県は、介護認定を行う役割がある。
- 2. 第1号被保険者は、40歳以上65歳未満の者である。
- 3. 要介護認定は、訪問調査の結果と主治医の意見書をもとに判定される。
- 4. 要支援に認定された場合には、介護給付が受けられる。

問 16 地域密着型サービスを1つ選び、番号を記入しなさい。

- 1. 訪問入浴介護
- 2. 夜間対応型訪問介護
- 3. 通所リハビリテーション
- 4. 介護老人保健施設

問 17 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

- 1. 障害者とは、20歳以上の者である。
- 2. 障害者の範囲には、難病患者は含まれない。
- 3. 身体障害者手帳の交付について規定している。
- 4. 自立支援給付や地域生活支援事業を総合的に行う。

問 18 看護管理について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 看護職員の能力開発や体制づくりをする。
2. 必要な物品や設備などの環境を整える。
3. 看護単位（病棟）は原則として60床以下を標準とする。
4. 看護管理職者のみの役割である。

問 19 疾病の二次予防について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 生活習慣の見直し
2. 健康診断
3. リハビリテーション
4. 予防接種

問 20 罨法について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 冷罨法は寒冷刺激により、細胞の新陳代謝が低下する。
2. 温罨法は交感神経を優位にし、効果を発揮する。
3. 湯たんぽの作成時、ゴム製の場合、湯温は60℃とする。
4. 湯たんぽは、患者の皮膚表面から5cm以上離れた場所に置く。
5. 氷枕は、空気を多く入れ作成する。

問 21 導尿について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 一時的導尿では、挿入するカテーテルの長さは女性7～9cm、男性23～25cm程度とする。
2. 男性の場合、陰茎を垂直になるように持ち、ゆっくりとカテーテルを挿入する。
3. 女性の場合、大陰唇をしっかりと開き、尿道口を確認する。
4. カテーテル挿入時は、口呼吸を促し、腹圧をかけないように声をかける。

問 22 500ℓの酸素ボンベ（14.7MPa 充填）を用いて移送することになった。圧力計は14.7MPa を示している。酸素カニューレ2ℓ/分で吸入している患者を車椅子で30分間散歩をした。一旦病室に戻り病室の中央配管の酸素に切り替えたが、30分後、呼吸困難を訴え、医師の指示で酸素マスク5ℓ/分でCT検査へ搬送することとなった。

- 1) 車椅子散歩終了時点での酸素ボンベの残量を計算しなさい。
- 2) CT検査に出棟する際、この酸素ボンベの使用可能時間は何分か。

問23 標準予防策（スタンダードプリコーション）について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 汗の付着したシーツは感染性の病原体を含む可能性があるものとして取り扱う。
2. 感染症の有無にかかわらず、すべての患者に対して講じる予防策である。
3. 手指衛生（手洗い）は標準予防策には含まれない。
4. 血液の付着したリネンは、汚染を拡散しないように振り動かさずに取り扱う。
5. 手袋・マスクを着用すれば、個人防護具（PPE）としては十分である。

問24 慢性期の特徴について、（ ）に適切な語句を枠内から選び、記号を記入しなさい。

慢性期の長い経過の中には、症状に大きな変化がない（①）、症状が再発したり悪化したりする（②）という時期がある。こうした①と②をくり返しながら少しずつ進行する。

慢性疾患では、対象の（③）を見直さなければならないことが多く、良い状態をできるだけ維持することが慢性期の目標であるため、患者自身が主体的に（④）できるように支援する。

ア. 日常生活動作	イ. 寛解期	ウ. 再発	エ. 増悪期	オ. リハビリテーション
カ. セルフケア	キ. 治癒期	ク. 受容	ケ. 生活習慣	コ. 維持期

問25 輸液療法を受ける患者の看護について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 穿刺部位は、関節部や利き手を避けた部位を選択する。
2. 輸液療法中は、尿量や排尿回数が増加するので疲労感に注意する。
3. 合併症として静脈炎、血管外漏出の有無を観察する。
4. 患者の寝衣交換をするときは、輸液をしている側の腕から脱がせる。

問26 死亡宣告について、（ ）に適切な語句を記入しなさい。

死亡時には、医師が（①）・（②）・瞳孔散大（対光反射の消失）の三徴候を確認し、死亡宣告をする。

問27 死後の処置について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 宗教や慣習上の要望に配慮する。
2. 最期まで患者を支えてきた家族も一緒に死後の処置を行えるよう、意向を確認する。
3. カテーテルや医療機器はそのままで家族に面会してもらう。
4. 患者には、生前と同じように声をかけながら処置を行う。

問 28 Aさん(55歳 男性)は右肺癌で胸腔鏡下右肺切除術を受ける予定である。術前の看護について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 術前オリエンテーションを行い、患者の不安の軽減に努める。
2. 術後呼吸器合併症を予防するために、呼吸訓練を行う。
3. 神経、筋肉切断による運動制限予防のため、上肢の運動を促す。
4. 除毛クリームなどを使用し、上半身すべての毛を除毛する。
5. 術前の夜は十分な休息がとれるよう、希望があれば睡眠薬を使用する。

問 29 Bさん(52歳 女性)は2型糖尿病と診断され、教育入院した。

問 29-1 糖尿病合併症予防のためのフットケアの指導内容について、適切なものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 足の爪は、深爪にならないように切る。
2. 足の汚れを落とすために、強くこするように洗う。
3. 靴はゆとりのある大きめの靴を選ぶ。
4. 鶏眼(うおのめ)や胼胝(たこ)は早めに自分で処理する。

問 29-2 糖尿病の三大合併症を3つ記入しなさい。

問 30 潰瘍性大腸炎患者の看護について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 薬物療法が長期にわたるため、寛解期には自分で服薬を中断してもよいと指導する。
2. 副腎皮質ホルモン薬服用中は、感染予防を指導する。
3. 急性期には経静脈栄養が選択されるため、水分出納に注意する。
4. 患者の抱えている精神的ストレスを理解し援助する。
5. 治療は主に内科的治療で行われ、手術の適応はないと説明する。

問 31 脊髄損傷患者の看護について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 障害を抱えながらも残存機能を最大限に活かして生活できるように支援する。
2. 自律神経の過緊張の症状である血圧上昇、胸内苦悶が生じていないか観察する。
3. 痙縮が起きたら、鎮まるまで関節を引っ張る。
4. 下痢になりやすいので、緩下剤は使用しない。
5. 身体面の看護だけでなく、精神的な支援も行う。

問 32 高齢者の看護について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 高齢者は、入院による生活環境の変化によりストレスを抱きやすい。
2. 高齢者の病状や症状は定型的であるため、主疾患による症状のみ観察する。
3. 廃用症候群を予防するためには臥床時間を減らし、座って過ごす時間を長く持つことが重要である。
4. 入院時オリエンテーションは、入院後のイメージがもてるようパンフレットを用いるなどして繰り返し丁寧に行う。

問 33 高齢者の退院支援の看護について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 退院の日にちが決定してから退院支援を行う。
2. 退院先は、医療者が主導して決定する。
3. 医師・看護師だけでなく、院内外の多職種と連携しながら支援する。
4. 入院前に介護保険を利用していた場合の今後の相談は、民生委員に行う。

問 34 胎児付属物について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 卵膜は、羊膜と絨毛膜の2層から成る。
2. 羊水は、羊膜腔を満たす弱酸性の液体である。
3. 胎盤の重さは、胎児体重の約1/3である。
4. 臍帯の中には2本の臍動脈と1本の臍静脈がある。

問 35 アプガースコアの評価項目で、評価項目に含まれていないものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 体温
2. 呼吸
3. 心拍数
4. 皮膚色

問 36 アルコール依存症について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 治療目標は、節酒することである。
2. 自助グループの参加は、回復の力にはなりにくい。
3. 抗酒薬の服用により、飲酒後に不快症状が生じる。
4. 離脱症状として、コルサコフ症候群がある。

問 37 リエゾン精神看護について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 「リエゾン」とは「連携・連絡・橋渡し」を意味する。
2. 看護師のメンタルヘルス支援も含まれる。
3. 一般病棟に入院中の精神症状を生じた患者も対象である。
4. 精神科リエゾンチームは、精神科病棟看護師で構成される。



令和7年度  
一般入学試験

国語

広島県立三次看護専門学校  
第二看護学科

受験番号( ) 氏名( )

答案作成上の注意

- 1 受験番号、氏名は、解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 2 解答は解答用紙の所定の場所に記入すること。
- 3 配布した問題用紙、解答用紙は持ち出してはならない。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

### 「対話」の構造を作る

舞台上に、父、母、娘、息子の四人家族がいるとする。この四人が、卓袱台ちやぶたいをカ|コaンで話をしている。これは、まさに「会話」である。

しかし、このような会話がいくら延々と続いても、観客に有効な情報はなかなか出てこない。たとえば、お父さんの職業はいつこうにわからない。子どもがお父さんに、

「お父さん、仕事なに？」

と聞くわけにはいかないから。

そこで劇作家は常に、こういった場面には他者を登場させる。たとえば、娘の恋人が初めてやって来るといった設定を考える。娘の恋人が初めて家を訪れる日には、日本のお父さんは最初は奥に引っ込んでるので、母親が応対に出る。この場面で、

「いやいや、近頃は銀行も大変でしてねえ」

といった台詞せりふが母親から発せられれば、「ああ、この家のお父さんは銀行員なのか」という情報①が、無理なく客席に伝わっていく。

これが「対話」の構造である。

また、親しい人同士でも、価値観が異なると「対話」が起こる。

この典型的な例は、『忠臣蔵』だと私は考えている。『忠臣蔵』はもちろん近代演劇ではないが、歌舞伎作品があまたある中で、なぜ『忠臣蔵』だけがこれほど上演が続き、また映画やドラマにもなっているかといえば、そこに近代的な要素が多く含まれるからに他ならない。

『忠臣蔵』の元ネタとなった赤穂藩あこうお家断絶の事件が起こったとき、かの藩には、約三〇〇人の家臣がいたそう。小藩であるから、地元勤務の侍たちは、ほとんどが顔見知りであり、また親類縁者も多かったことだろう。

この時代、すでに関ヶ原の合戦から一〇〇年が経ち、武士も完全にサラリーマン化していた。したがって彼らは、おそらく日がな一日「会話」を続けていたはずだ。「あそここの村は年貢の取り立てが面倒くさくてさ」とか、「いやいや今年は豊作なんで、がっばり取れますよ」といった具合に、いまの税務署職員のような会話をしていたに違いない。

A、そこに江戸で若い愚直な殿様が大事件を起こしてしまった。藩は取りつぶされることになり、人びとは思いもよらぬ運命に直面する。

そのとき、三〇〇人の男たち一人ひとりの身に、それまで考えてもいなかった個々の価値観が表出する。ある者は、「殿が死んだんなら、オレも切腹だ」

と考へ、またある者は、「いやいや幕府の理不尽なソチに對抗して籠城だ」と唱へ、またある者は「憎き吉良上野介を倒すために討ち入りだ」と決意する。もちろん、「申し訳ありませんが、うちは家族もいるんで、お金だけでもらって再就職の口を探します」という者も多くいただろう。彼らは、「赤穂藩お取りつぶし」という大きな運命に直面するまでは、おそらく、「武士道とは何か」などとは考へもしなかつたはずだ。

ある集団が、個々人ではどうしようもできない大きな運命に晒されたときに、その成員一人ひとりに、それまで自身も自覚していなかつたような価値観、世界観が表出し、それがぶつかりあうことによつてドラマは展開していく。これが、近代劇を支える「対話」の原理である。

## わかりあう文化

演劇は他者を必要とし、「対話」の構造を要請する。

さてしかし、<sup>②</sup>日本社会には、この「対話」という概念が希薄である。

これは仕方のない側面もある。

一般に、日本社会は、ほぼ等質の価値観や生活習慣を持った者同士の集合体Ⅱムラ社会を基本として構成され、その中で独自の文化を培ってきたと言われてきた。

これはたとえば、皆で一緒に田植えをし、草刈りをし、稲刈りをしなければ収量がなかなか上がらない稲作文化の宿命と言えるかもしれない。あるいは、極端に人口流動性の少ない社会を作つた徳川幕藩体制が、そのような傾向に、さらにハクシヤをかけたとも言えるだろう。

私はこのような日本社会独特のコミュニケーション文化を、「わかりあう文化」「察しあう文化」と呼んできた。

一方、ヨーロッパは、異なる宗教や価値観が、陸続きに隣りあわせているために、自分が何を愛し、何を憎み、どんな能力を持つて社会に貢献できるかを、きちんと他者に言葉で説明できなければ無能の烙印を押されるような社会を形成してきた。これを私は、「説明しあう文化」と呼んでいる。

両者は、それぞれが独立した文化体系であるから、どちらが正しいとか、どちらが優れているということはない。

実際、私たちは、この「わかりあう文化」「察しあう文化」の中から、様々な素晴らしい芸術文化を生み出してきた。たとえば、

柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺

という句を聞いただけで、多くの人びとが夕暮れの斑鳩の里の風景を思い浮かべることができる。これは大変な能力だ。

この均質性、社会言語学などでいうところのハイコンテクストな（相手のコンテクスト、相手が何が言いたいかを察しやすい）社会が、日本をアジアの中でいち早く近代国家へとミチビいたことは間違いないだろう。我々は、組織だって、一丸となって何かを行うときに、まさに阿吽の呼吸で大きな力を発揮する。

だが一方で、こういった「察しあう」「口には出さない」というコミュニケーションは、世界においては少数派だ。少数派だからダメだと言っているわけではない。少数派の強みもある。たとえば私が暮らす芸術の世界などは、少数派の利点も随分とある。

**B**、「現代社会のようにキリスト教とイスラム教という一神教同士が正面からぶつかりあっている世界の現状を見ると、「まあ、まあ、そこはお互い察しあつてさ」という仏教的というか、日本的というか、そのようなアイマイで慈愛に満ちたコミュニケーションの形が、なんとなく世界平和に貢献できる部分もあるのではないかと感じることも多い。

だが、そうは言っても、やはり文化的に少数派であるという認識は、どうしても必要だ。そうでないと、ビジネスや日常生活の場面では、日本人は、いつまで経っても理解不能な変わり者扱いになってしまう。

そして、否が応でも国際社会を生きていかなければならない日本の子どもたち、若者たちには、察しあう・わかりあう日本文化に対する誇りを失わせないままで、少しづつでも、他者に対して言葉で説明する能力を身につけさせてあげたいと思う。

だがしかし、<sup>③</sup>「説明する」ということは虚しいことでもある。

柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺

を説明しなければならぬのだ。柿を食べていたら偶然鐘が鳴ったのか。鐘が鳴ったから、柿を食いたくなつたのか。法隆寺はなんの象徴か。こんな身も蓋もない説明を、しかし私たちは、他者に向かって繰り返し返していかなければならない。

T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）に入ったからと言って、第三の開国が成就するわけではない。本当に私たちが行っていかなければならない精神の開国は、おそらくこの空虚に耐えるという点にある。コミュニケーションのダブルバインドを乗り越えるというのは、この虚しさに耐えるということだ。

## 対話と対論の違い

『対話』と『対論』はどう違うのですか？』という質問もよく受ける。

「対論」＝ディベートは、AとBという二つの論理が戦って、Aが勝てばBはAに従わなければならない。Bは意見を変えねばならないが、勝ったAの方は変わらない。

「対話」は、AとBという異なる二つの論理が摺りあわせり、Cという新しい概念を生み出す。AもBも変わる。まずはじめに、いずれにしても、両者ともにも変わるのだということ的前提にして話を始める。

だが、こういった議論の形にも日本人は少し苦手だ。最初に自分が言ったことから意見が変わると、何か嘘をついていたように感じてしまうのかもしれない。あるいはそこに、敗北感がトモナってしまう。

「対話的な精神」とは、異なる価値観を持った人と出会うことで、自分の意見が変わっていくことをイサギヨしとする態度のことである。あるいは、できることなら、異なる価値観を持った人と出会うことで、自分の考えが変わっていくことに喜びさえも見いだす態度だと言ってもいい。

ヨーロッパで仕事をしていると、些細なことでも、とにかくやたらと議論になる。議論をすること自体が楽しいのだろうとしか思えないときもCにしてある。

三〇分ほどの議論を経て、しかし、たいてい日本人の私(A)のほうが計画的だから、その「対話」の結末は、Cというよりは、当初の私の意見に近い「A」のようなものになる。そこで私が、

「これって結局、最初にオレが言っていたのと、ほとんど変わらないじゃないか」  
と言うと、議論の相手方(B)は必ず、

「いや、これは二人で出した結論だ」  
と言ってくる。

だが、この三〇分が、彼らにとっては大切なのだ。  
④ ところが、この三〇分が、彼らにとっては大切なのだ。何よりも重要なプロセスなのだ。

幾多の(おそらく私よりも明らかに才能のある)芸術家たちが海外に出て行って、しかし必ずしもその才能をばせないのは、おそらくこの対話の時間に耐えられなかったのではないかと私は推測している。様々な舞台芸術の国際協働作業の失敗例を見ていくと、日本の多くの芸術家は、この時間に耐えられず、あきらめるか切れるかしてしまふのだ。日本型のコミュニケーションだけに慣れてしまっていると、海外での対話の時間に耐えきれずに、「何でわからないんだ」と切れるか、「どうせ、わからないだろう」とあきらめてしまふ。演劇に限らず、音楽、美術など、どのジャンルにおいても海外で成功している芸術家の共通点は、粘り強く相手に説明することをいとわないうところにあるように思う。日本では説明しなくてもわかってもらえる事柄を、その虚しさ

に耐えて説明する能力が要求される。

私はこの能力を、「対話の基礎体力」と呼んでいる。そして、小中学校の先生方には、

「対話の技術は大学や大学院でも身につきますから、どうか子どもたちには、この『対話の基礎体力』をつけてあげてください」とお願いしてきた。

異なる価値観と出くわしたときに、物怖<sup>ものお</sup>じせず、ヒクツ<sup>i</sup>にも尊大にもならず、粘り強く共有できる部分を見つけ出していくこと。ただそれは、単に教え込めばいいということではなく、おそらく、そうした対話を繰り返すことで出会える喜びも、伝えていかなければならないだろう。

意見が変わることはハ<sup>j</sup>ずかしいことではない。<sup>⑤</sup>いや、そこには、新しい発見や出会いの喜びさえある。その小さな喜びの体験を、少しずつ子どもたちに味わわせていく以外に、対話の基礎体力を身につける近道はない。

(平田オリザ『わかりあえないことから』による。出題の都合上、一部改変した)

問一 傍線部 a ~ j のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部①「情報が、無理なく客席に伝わっていく」とあるが、なぜ無理なく観客に伝えることができたのか。端的に説明しなさい。

問三 空欄 A・B に当てはまる語を、次の①~⑤の中から選び、番号で答えなさい。

- ① ところが      ② しかれば      ③ あるいは      ④ それならば      ⑤ だとすれば

問四 傍線部②「日本社会には、この「対話」という概念が希薄である」とあるが、筆者は「希薄」である理由を「日本社会」がどのような文化だからだと考えているのか。それをわかりやすく言い表した言葉を二つ、本文中から書き出して答えなさい。

問五 傍線部 A 「阿吽の呼吸」の意味を、端的に説明しなさい。

問六 傍線部③「説明する」ということは虚しいこと」とあるが、「虚しい」理由を日本の文化と海外の文化とを対比するかたちで、九十五字程度で説明しなさい（句読点なども一字に数える）。

問七 文脈上、空欄 C に最もふさわしい語を、次の①～⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 稀有      ② 少々      ③ 往々      ④ 若干      ⑤ 時々

問八 傍線部④「とことん話しあい、二人で結論を出すことが、何よりも重要なプロセスなのだ」とあるが、そのためにはどういう気持ちが必要だと筆者は考えているのか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問九 傍線部⑤「いや、そこには、新しい発見や出会いの喜びさえある」とあるが、「新しい発見や出会いの喜び」とはどのようなものだと考えられるか。説明しなさい。

問十 筆者の述べる「対話の基礎体力」は、あなたが目指す看護の現場において、あるいは看護師として、どのように生かすことができると考えるか。あなた自身の看護や介助、介護、入院等の経験や知識に基づいた具体例を示しながら、二百字程度でああなたの考えを述べなさい（句読点なども一字と数える）。

